

- ▶ A・(B)・(C)ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中の情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の〈〉()は秘密にする。

質問番号	地図番号	A 普通注記	ページ
036	112		
項目名		(B 除いた共通語)	(1)
ものもらい		(C 除いた特殊語)	

地点番号	A 語形とその注記 (B・C 除いた語形とその注)	A 注のない語形 (B・C 残した語形とその注)
0840.33	meppa <多>	
0873.94	meboʃi <子どもころアイヌがそういら いたので使った。>	
	hoʃi <子ども時>	
	meppa <そのあとで多く使った。>	
0789.95	baka <多>	mebo
0894.61	baʃa(deta) <多>	
	meppa <少> <このころ>	
0896.22	モノモライ <四国の人親達はメボヒ いった。>	

- ▶ A・(B)・(C)ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中での情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の〈〉()は厳密にする。

質問番号 036	地図番号 112	A 普通注記	ページ
項目名 ものもらい		(B 除いた共通語)	(2)
		(C 除いた特殊語)	

地点番号	A 語形とその注記 (B・C 除いた語形とその注)	A 注のない語形 (B・C 残した語形とその注)
0990.97	monomorai <他の者は meppaかぶつ>	
1699.14	メッパ 古	メボシ
1739.10	mebofi <普通>	monomorai
1739.85	meboro <ほかにはいわない>	
1744.60	メッパ <子供時代に言った>	メボソ
1747.04	メボオ <多>	
	メッパチ 老. 幼	
1793.14	バカ <バカデル>などという.	
1814.25	メッパ <少い>	メボ
1859.84	meppa <今も> *	

- ▶ A・(B)・(C)ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中での情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の〈〉()は厳密にする。

質問番号 036	地図番号 112	A 普通注記	ページ
項目名 ものもらい		(B 除いた共通語)	(3)
		(C 除いた特殊語)	

地点番号	A 語形とその注記 (B・C 除いた語形とその注)	A 注のない語形 (B・C 残した語形とその注)
2761.44	mebosi	(?) (念をおしたか 誤なしと言)
2761.77	NK	〈自分も家人も患ったこと無し〉
2762.61	mepa	東北ゆえみじかくなつて現われ しとみる。(室員)
2771.83	NR	(mebosi と答えたので、違 旨 注意した。)
2781.91	meba	〈?〉
	nome	〈これを普通使う〉
2783.48	mebosi	(類似のなきものと混同?)
2791.15	mebosi	(?)

- ▶ A・(B)・(C)ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中での情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の<>() ()は厳密にする。

質問番号 036	地図番号 112	A 普通注記	ページ
項目名 ものもらい 036		(B 除いた共通語)	(4)
		(C 除いた特殊語)	

地点番号	A 語形とその注記 (B・C 除いた語形とその注)	A 注のない語形 (B・C 残した語形とその注)
2791.88	jonome # (はじめは moraimé と自信なげに言った。)	
3609.47	nome <老>	jonome
3619.08	nomé éは狭いe	
3688.82	more more <普通>	
	meppa <ジカタの言葉>	
3720.71	meppa (普通)	
	hoido とも	
3723.21	nome nomeは jonome (魚の目) からの転なるらし。秋田一般	

- ▶ A・(B)・(C)ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中での情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の<>〔〕は厳密にする。

質問番号 036	地図番号 112	A 普通注記 スーシ
項目名 ものもらい 698		(B 除いた共通語) (C 除いた特殊語) (5)

地点番号	A 語形とその注記 (B・C 除いた語形とその注)	A 注のない語形 (B・C 残した語形とその注)
	jonome は 小さなフツツと出るはれものをいう。モノモライはホエドコ、ヤッコ	
3727.21	メナ (?)	
3730.43	hoedo 乞食は jakko	
3737.32	メ	メッパジ
3741.16	hoedo Eは非常に狭いE <-軒おいて となりから にぎりめしをもらって食べると直る>	
3743.49	メ # (苦心して思い出した)	

- ▶ A・(B)・(C) ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中での情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の〈 〉()〔 〕は設密にする。

質問番号 036	地図番号 112	A 普通注記	ページ
項目名 ものもらい 698		(B 除いた共通語)	(6)
		(C 除いた特殊語)	

地点番号	A 語形とその注記 (B・C 除いた語形とその注)	A 注のない語形 (B・C 残した語形とその注)
3746.09	nomi なおすときの呪文. nomi nomi hanero haji nakara hanekgero 藁で結んで. のち. 上の呪文をとな えながら その藁を火にくべる。	
3752.89	holdo (ホイト)	
3760.58	jakko (多)(普通)	
	holdo (トイウ)	
3761.22	monomori (音)	holdo
3770.96	menomori 左は誤記ではない。	

- ▶ A・(B)・(C)ごとに別紙を使用する。
 ▶ その中での情報は地点番号順に並べる。
 ▶ 注記の<>()〔 〕は厳密にする。

質問番号 036	地図番号 112	A 普通注記	ページ
項目名 ものもらい 036		(B 除いた共通語)	(7)
		(C 除いた特殊語)	

地点番号	A 語形とその注記 (B・C 除いた語形とその注)	A 注のない語形 (B・C 残した語形とその注)
3777.48	バカ 〔 〕	ノミ #
3780.65	fedoko (昔)	monomoral
3783.08	nomë èは非常に狭い	
3791.02	chedo ㊦ 乞食は jakko ただし chedo もよくわかる。	
3792.33	houdoko (下まぶた)	
	dannasam (上まぶた)	
3792.96	hoido (下のふちに出たもの)	
	dannasam (上のふちに出たもの)	
4619.23	mono <神様から水をもらって来て、つける 直る>	

- ▶ A・(B)・(C)ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中の情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の<>() ()は厳密にする。

質問番号 036	地図番号 112	A 普通注記	ページ
項目名 ものもらい 698		(B 除いた共通語)	(8)
		(C 除いた特殊語)	

地点番号	A 語形とその注記 (B・C 除いた語形とその注)	A 注のない語形 (B・C 残した語形とその注)
4638.22	méro méro éは狭い へソの上に塩をつければいい。 とか、ゴムのくしま 眼をなす れはいい。とかいう。	
4638.43	momore more more <どちらも 総称であり、又は 上まぶたにできたものもらい ある。>	
4648.42	meΦuɲu ri more more <上> # <下> #	
4653.84	mebu ri このuは少しの寄り	

- ▶ A・(B)・(C)ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中での情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の<>〔〕は厳密にする。

質問番号	地図番号	A 普通注記	ページ
036	112		
項目名		(B 除いた共通語)	(9)
ものもらい 036		(C 除いた特殊語)	

地点番号	A 語形とその注記 (B・C 除いた語形とその注)	A 注のない語形 (B・C 残した語形とその注)
4654.52	mebo	<国中地方は mego といふ>
4666.99	metʃi:	# (普通に発音したとき)
	metʃiri	(はっきりおそく発音したとき)
		(r音をおとす)
4667.76	deba	# (deba deru といふ)
4672.19	me <u>b</u> uro	やや me <u>g</u> uro に似たひら
		きがあった。
4675.62	memorae	# ! <古> (古いかどうか疑問)
	me <u>u</u> nguri	<新> (新しいかどうか疑問)
4676.39	mepatsi	付近から meppatsu に似

- ▶ A・[B]・[C]ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中での情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の<>〔〕は厳密にする。

質問番号 036	地図番号 112	A 普通注記	ページ
項目名 ものもらい 036		(B 除いた共通語)	(10)
		(C 除いた特殊語)	

地点番号	A 語形とその注記 [B・C 除いた語形とその注]	A 注のない語形 (B・C 残した語形とその注)
4676.67	mekusare (?) (monomorai その他 をはくせんと総称してmekusare と言うといったか はっきりしない。 monomoraiを知らぬか その名を忘れたかしたのでは なかろうか。とにかく疑問で ある。)	
4677.65	mame	o. oとuの中間音

- ▶ A・(B)・(C) ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中での情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の〈〉() は厳密にする。

質問番号 036	地図番号 112	A 普通注記	ページ
項目名 ものもらい 054		(B 除いた共通語)	(//)
		(C 除いた特殊語)	

地点番号	A 語形とその注記 [(B・C 除いた語形とその注)]	A 注のない語形 [(B・C 残した語形とその注)]
4679.65	nome <モノモライなど聞いた事もない>	
4684.77	monome (?) #?	NR!
4687.01	meTpazm <下まぶたにできた物>	
4687.37	nome <上まぶたにできたもの>	
	monomorae <下まぶたにできたもの>	
	<米をもらってたいて食べれば なおる。米をもらい歩く時 橋を渡ってはいけない>と いう信仰があった。	
4689.86	nomi 誘	

- ▶ A・(B)・(C) ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中での情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の〈〉〔 〕は厳密にする。

質問番号 036	地図番号 112	A 普通注記	ページ
項目名 ものもらい 096		(B 除いた共通語)	(12)
		(C 除いた特殊語)	

地点番号	A 語形とその注記 (B・C 除いた語形とその注)	A 注のない語形 (B・C 除いた語形とその注)
4695.19	フキテ #? (?) 類似の出来ものと間違えているのかも知れない。	
4695.33	monomorae 〈?〉〈古いことはと思う〉(?) meppatsji 〈これを多く使う。子供の時から用いている。〉	
4701.73	koudo (ホドとは乞食のことなり)	
4703.88	baga [!] 〈下のまぶたにできたもの?〉 okjakusama 〈上のまぶたにできたもの?〉	
4704.04	ノメ 〈古〉 バカ 〈新〉	

- ▶ A・(B)・(C) ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中での情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の〈〉()は厳密にする。

質問番号 036	地図番号 112	A 普通注記	ページ
項目名 ものもらい 036		(B 除いた共通語)	(13)
		(C 除いた特殊語)	

地点番号	A 語形とその注記 (B・C 除いた語形とその注)	A 注のない語形 (B・C 残した語形とその注)
4711.41	nomé 〔 〕 〈総称〉 (直り方が上睨 と下睨の場合に相違があるので この様に区別して ^{ホエド} 乞食のメ 殿 様のメ という由。その <u>メ</u> が総称 となった。)	
4711.49	バカ 一般	モノモラエ
4712.54	hoedo: 〈本当は乞食の意だが ものもら いの意に転用したもの〉	
4714.22	baga 〈ことはマはないが たとえとして 上側のものは baga (馬鹿) ↓	

- ▶ A・(B)・(C) ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中での情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の<>() [] は厳密にする。

質問番号 036	地図番号 112	A 普通注記	ページ
項目名 ものもらい 036		(B 除いた共通語)	(14)
		(C 除いた特殊語)	

地点番号	A 語形とその注記 (B・C 除いた語形とその注)	A 注のない語形 (B・C 残した語形とその注)
	下側のものは okjakw (お客) と言っている。> (?)	
4714.68 N.R.	<自分はそのようなものができた覚えがないからわからない>	
4721.36 nome	[]	
4722.40 baka	<古>	nome
4722.55 baka	<ものもらいができる、「利口だからバカがまた。」と言っからかう。>	
4723.14 mono	動詞的には mono deru ともい。	baga

- ▶ A・(B)・(C)ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中での情報は地点番号順に並ぶ。
- ▶ 注記の<>() [] は厳密にする。

質問番号	地図番号	A 普通注記	ページ
036	112	(B 除いた共通語)	(15)
項目名		C 除いた特殊語	
ものもらい 036			

地点番号	A 語形とその注記 (B・C 除いた語形とその注)	A 注のない語形 (B・C 残した語形とその注)
4730.45	baga <総称> <下睨にマたもの>	
4730.95	baŋa (下まぶたに出ると)	
	meŋgo (上まぶたに出ると)	
4731.42	baga []	} (メソコは馬鹿の反対 マ子供をほめる時 なとつかう言葉。くハ ガという直らないか メソコというすくはれ るからメソコという という。)
	meŋgo [] <メ>	

- ▶ A・(B)・(C)ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中での情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の<>()〔 〕は厳密にする。

質問番号 036	地図番号 112	A 普通注記	ページ
項目名 ものもらい 036		(B 除いた共通語)	(16)
		(C 除いた特殊語)	

地点番号	A 語形とその注記 [(B・C 除いた語形とその注)]	A 注のない語形 [(B・C 残した語形とその注)]
4731.85	baga 〔 〕(バカというわけは、いじると おこるかららしい。人間のバカも ふれないで、そとしておいた方がよい)	
4736.63	baga 〈馬鹿の意 …… 上のまぶたにマキ たもの〉	
4740.26	baga menjo 〈バカがぶつ。メンゴは からの いうようなときにつかう。〉 (バカ→馬鹿 メンゴ→可愛らしい)	
4740.93	monomorae 隣家より米三粒もらえは なおるとの俗信あり。	

- ▶ A・(B)・(C) ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中で情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の<>()〔 〕は厳密にする。

質問番号 036	地図番号 112	A 普通注記	ページ
項目名 ものもらい 036		(B 除いた共通語)	(17)
		(C 除いた特殊語)	

地点番号	A 語形とその注記 (B・C 除いた語形とその注)	A 注のない語形 (B・C 残した語形とその注)
4741.92	baga <上下睨による区別なし>	
4742.37	baga []	
4742.43	hosi <目の中ではない。目のふち 毛) モライのこじである。目の中のは kakarimono といふ。>	
	④ <ホシが出マ イスマ 困る>	
4744.10	monomorae <この方が馬鹿らしくない感じ> baga	
4752.27	baga nome 両者のちがいがききたせなかった。	
4753.52	baga <希>	nome
4760.64	monomorae []	

- ▶ A・(B)・(C)ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中での情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の<>()は厳密にする。

質問番号 036	地図番号 112	A 普通注記	ページ
項目名 ものもらい 036		(B 除いた共通語)	(18)
		(C 除いた特殊語)	

地点番号	A 語形とその注記 (B・C 除いた語形とその注)	A 注のない語形 (B・C 残した語形とその注)
4761.07	mejo <上の語形は“馬鹿”であるから忌みかけ。このようにメジョ(可愛い)か?)と呼ぶことがある。>	baka
4763.45	nome baka <どちらかと言えば、nomeを多く使うが、nomeとbakaについて内容上、用法上の区別はない。>	
4773.15	nome #戸に豆を落とすと直る。	
4792.43	nome nomme あすきでさあて、それを#戸へ落とすと直る。	
5471.59	メマンジョ <小> <できものの大小によってちがった言い方がある>	

- ▶ A・(B)・(C)ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中での情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の<>〔〕は厳密にする。

質問番号 036	地図番号 112	A 普通注記	ページ
項目名 ものもらい 036		(B 除いた共通語)	(19)
		(C 除いた特殊語)	

地点番号	A 語形とその注記 (B・C 除いた語形とその注)	A 注のない語形 (B・C 残した語形とその注)
5507.09	megatane <新>	metjimpō
5536.29	imorai <古>	memorai
5538.50	メカヲネ 特に大きいもの	メホロ
5548.58	memorai <新> (新)はあくになら ない)	metsumpo
5555.58	monomorai (?)	
5558.09	memurai <新>	metsumpo
5558.33	me:guri <希>	ju:mori, me:mori
5566.35	imore: <古>	imorai
5574.42	memoro <古>	memara

- ▶ A・[B]・[C]ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中で情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の<>〔〕〔〕は厳密にする。

質問番号 036	地図番号 112	A 普通注記	ページ
項目名 ものもらい 036		[B 除いた共通語]	(20)
		[C 除いた特殊語]	

地点番号	A 語形とその注記 (B・C 除いた語形とその注)	A 注のない語形 (B・C 残した語形とその注)
5575.93	memorai marota→眼の中にできる筋	
5579.42	metjimbo <下品なことは>	mekoziki
5579.79	メムラ <他. 稀>	メチンボ
5590.53	メイボ <少>	メボ
5594.02	me-bo 優位	monomoral
5594.37	mebo 優位	
5595.89	メンボ <希>	メフウ
5599.75	コジキ <古>	モノムライ
5604.65	メッパツ <若い時代はこれを用いた>	モノモラエ
5605.70	monomone <古>	

- ▶ A・(B)・(C) ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中での情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の<> () () は厳密にする。

質問番号	地図番号	A 普通注記	ページ
036	112		
項目名		(B 除いた共通語)	(21)
ものもらい 636		(C 除いた特殊語)	

地点番号	A 語形とその注記 (B・C 除いた語形とその注)	A 注のない語形 (B・C 残した語形とその注)
5606.83	meppatsu <上まふたに出来たもの> monomurae <下まふたに出来たもの>	
5609.26	nomé éは狭い	
5611.39	metpasm <希> metsojko' ! <古> <子供の時使った> monomorai <友人にも 共通語的場面 でも 多く用いる。ずっと 前から使った。>	
5613.48	monowri monomorae 字の他 の人はこれを多く用いる。 他の人がどういう種類の人か 不明。	

- ▶ A・(B)・(C) ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中での情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の<>〔〕は厳密にする。

質問番号	地図番号	A 普通注記	ページ
036	112	(B 除いた共通語)	(22)
項目名		(C 除いた特殊語)	
ものもらい 036			

地点番号	A 語形とその注記 (B・C 除いた語形とその注)	A 注のない語形 (B・C 残した語形とその注)	
5614.62	monomorae metpatsuw	く上から下るものもある。この 二つの言い方は若い時から 両方とも使っている。 metpatsuwを使うときは やや多いかも知れない。>	
5615.28	meppatsuw	くものもらいが なくなったあと またたか変形したものを いう。> (pp音はF音の ひびきがある。)	monomune: #
5615.78	monomurae	(まんなかのm音はは、きり ひびかないようである。)	

- ▶ A・(B)・(C) ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中での情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の<>()〔 〕は厳密にする。

質問番号 036	地図番号 112	A 普通注記	ページ
項目名 ものもらい 036		(B 除いた共通語)	(23)
		(C 除いた特殊語)	

地点番号	A 語形とその注記 (B・C 除いた語形とその注)		A 注のない語形 (B・C 残した語形とその注)
5620.30	ebōra	bō = フ に近い。	
5622.48	monomono	<上流の人は monomurai と言う。>	
5623.27	meppatsu	<橋を渡らずに隣家へ行 き物をもらって食べると なおる。>	
5623.85	meppatsure	<目ハレルからださ!>	monomoraē
5625.91	meppatsu	[monomurae]	
5628.70	モノモライ	<小さいてきものをいう>	
	メカゴ	<大きいてきものをいう>	

- ▶ A・[B]・[C] ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中での情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の<>〔〕()は敢密にする。

質問番号 036	地図番号 112	A 普通注記 ページ
項目名 ものもらい 036		[B 除いた共通語] [C 除いた特殊語] (24)

地点番号	A 語形とその注記 [B・C 除いた語形とその注]	A 注のない語形 [B・C 残した語形とその注]
5631.16	meppa [mekkodgi ki]	
5631.26	mekkoziki ?〈希〉	momomorai
5632.83	metjimbo (きわめてまじめな顔で答えた)	
5635.65	メカゴ 〈共〉	
5638.53	モノモライ 〈多く使う〉	メカゴ
5639.80	メカゴ 〈古〉	
5641.07	metjimbo #〈上へできたもの〉	
	momomorai 〈下へふたへできたものを〉	
5641.99	me*koziki 〈モノモライは聞くことはあるが使ったことはない〉	

- ▶ A・(B)・(C) ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中での情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の<>〔〕は厳密にする。

質問番号 036	地図番号 112	A 普通注記	ページ
項目名 ものもらい 036		(B 除いた共通語)	(25)
		(C 除いた特殊語)	

地点番号	A 語形とその注記 (B・C 除いた語形とその注)	A 注のない語形 (B・C 残した語形とその注)
5642.31	mekkoziki <上>	metjimbo
5644.74	メカゴ <英>	
5645.43	メカゴ <古>	
5645.89	メケゴ <古>	
	メッパ <新>	
5647.56	メカゴ <古>	
5648.53	メケゴ モノモライ <同程度に使用>	
5648.96	メケエゴ <古>	モノモライ
5652.37	mekkoziki []	
5652.81	mekkoziki [monomorai]	

- ▶ A・(B)・(C) ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中での情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の<> () () は厳密にする。

質問番号 036	地図番号 112	A 普通注記 ページ
項目名 ものもらい 056		(B 除いた共通語) (C 除いた特殊語) (26)

地点番号	A 語形とその注記 (B・C 除いた語形とその注)	A 注のない語形 (B・C 残した語形とその注)
5653.42	mekodziki # (第三者. おはあさんと言われく<もうそう>と同意)	mekago
5654.94	メカゴ <古>	モノモライ
5655.41	メカゴ <古>	メッパ
5655.57	メッパ <共>	
5657.53	メカイゴ <多>	モノモライ
5657.73	メカイゴ <共>	
5658.89	メカイゴ <古>	モノモライ
5659.42	メカイゴ 普通の言い方	モノモライ
5659.46	モノモライ 一般に使用	

- ▶ A・(B)・(C) ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中での情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の<> () () は厳密にする。

質問番号 036	地図番号 112	A 普通注記	ページ
項目名 ものもらい 036		(B 除いた共通語)	(27)
		(C 除いた特殊語)	

地点番号	A 語形とその注記 (B・C 除いた語形とその注)		A 注のない語形 (B・C 残した語形とその注)
	メケゴ メカイゴ	老人が多く使う	
5664.58	メカゴ	<多>	モノモライ
	メッパ	<多>	
5665.11	メバ ^ッ ジキ	コジキか加わるか (室員)	
5665.12	メッパ	<多>	モノモライ
5665.89	メカイゴ	<古>	モノモライ
5666.10	メカゴ	<多>	モノモライ
5666.18	メケゴ	<共>	
5667.08	メカイゴ	<児>	メッパ
	メケゴ	<児>	

- ▶ A・[B]・[C] ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中での情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の<>〔〕〔〕は厳密にする。

質問番号 036	地図番号 112	A 普通注記	ページ
項目名 ものもらい 096		[B 除いた共通語]	(28)
		[C 除いた特殊語]	

地点番号	A 語形とその注記 [B・C 除いた語形とその注]	A 注のない語形 [B・C 残した語形とその注]
5669.12 me:kaego	<古>→さるをかぶるとものもらいができる、という俗信がある。	monomora e
5670.47 metjimbo	<古> この地では「めやに」のことを mettoと言っている。	mekkodziki
5671.00 metjimbo	#! <目の悪い状態 たはえは赤くはれたり。目やにが出たりするよきにメコジキができたと言う>	
5674.59 メカゴ	<多・古>	モノモライ
5675.36 メカイゴ	<古>	

- ▶ A・(B)・(C) ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中での情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の〈〉()〔 〕は厳密にする。

質問番号 036	地図番号 112	A 普通注記 ページ
項目名 ものもらい 036		(B 除いた共通語) (C 除いた特殊語) (29)

地点番号	A 語形とその注記 (B・C 除いた語形とその注)	A 注のない語形 (B・C 残した語形とその注)
	メッパ <新>	
5676.28	meppa (多く用いる)	mike:go
5676.52	メケゴ 〈メケゴのなまり、メケゴの意味は、目のかゆい子、めかきをかかるとできる。〉	
5677.28	ミケゴ <昔>	
	ミカイゴ <今> 多し	
5678.33	モノモライ <昔>	
	ミカイゴ <small>ミ</small> (ミカイゴ 或 ミケゴ につき) 又は説明しなかった。	
	ミケゴ	

- ▶ A・(B)・(C)ごとに別紙を使用する。
 ▶ その中での情報は地点番号順に並べる。
 ▶ 注記の<>()は厳密にする。

質問番号 036	地図番号 112	A 普通注記	ページ
項目名 ものもらい 036		(B 除いた共通語)	(30)
		(C 除いた特殊語)	

地点番号	A 語形とその注記 (B・C 除いた語形とその注)	A 注のない語形 (B・C 残した語形とその注)
5678.59	momonūrai ū = u と O との間 (室員注 ū を <u>u</u> とみる)	
5680.34	mekkoziki <治療法は櫛の背をあぶ マある> 『となりマ めしをもらう方法もある』	
5681.41	mekodziki <上>	imetjimbo
5684.11	mekkoziki <新><よそからはいた>	mekago
5685.02	mekago 民間治療法 - <篩を粉 #戸にみせて.#戸神様にたむ> [衣類の襟をしばり(右眼に	

- ▶ A・[B]・[C] ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中での情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の<> () [] は厳密にする。

質問番号 036	地図番号 112	A 普通注記 ページ
項目名 ものもらい 056		[B 除いた共通語] [C 除いた特殊語] (3/)

地点番号	A 語形とその注記 [B・C 除いた語形とその注]	A 注のない語形 [B・C 残した語形とその注]
	できたら右の)直してくれたらとい やるという]	
	[物をもらって来る。流しから手を 出して……(食物かどうかききもらした)]	
5685.37 mekago	<mekago さるのようなものを冠 と出来る。mekago - meke:を #戸に半分みせると治る>	
5686.15 mekago	#戸へカゴを持って行って、半分 出して、#戸の神様に、直してもら えれば全部見せると、となえる。	

- ▶ A・(B)・(C)ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中での情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の〈〉()は厳密にする。

質問番号 036	地図番号 112	A 普通注記	ページ
項目名 ものもらい 096		[B 除いた共通語]	(32)
		[C 除いた特殊語]	

地点番号	A 語形とその注記 [B・C 除いた語形とその注]	A 注のない語形 [B・C 残した語形とその注]
5686.31	mekago	<p>〈メカゴとは本来 目のあるサル のこと。ここでは「meke:と 民間治療法に、井戸(4.147番) へこの「meke:を半分見せて 直してくれるなら全部見せると いうのがある。「meke:マ なくても目の多いものなら節 マも何マもよい〉</p> <p>〈よそマ物をもらって食うと治る。〉</p>
5686.67	モノモライ	<p>(これを直すには着物のツマを 絹糸ではれはよいのこと。)</p>

- ▶ A・(B)・(C)ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中の情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の〈〉()〔 〕は厳密にする。

質問番号 036	地図番号 112	A 普通注記	ページ
項目名 ものもらい 036		(B 除いた共通語)	(33)
		(C 除いた特殊語)	

地点番号	A 語形とその注記 (B・C 除いた語形とその注)	A 注のない語形 (B・C 残した語形とその注)
5687.32	モノモライ 〈!もらって歩けば通るとい 言い伝えあり〉	
5688.37	メホオシ 〈古〉 違う眼病かと思ったが 第三者(家族の者)にも聞いて 大体モノモライと同じものと 確認した。	モノモライ
5690.96	hoji'ga dekita (かなり考えたが 出てこぬ) (ga dekita は 除いた一室員)	
5691.37	megasa 古	monomorai
5696.54	monomorai 流しの窓からお米を貰えは 着る	

- ▶ A・[B]・[C]ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中での情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の<>〔〕は厳密にする。

質問番号 036	地図番号 112	A 普通注記 ページ
項目名		[B 除いた共通語] [C 除いた特殊語] (34)

地点番号	A 語形とその注記 (B・C 除いた語形とその注)	A 注のない語形 (B・C 残した語形とその注)
5698.91	monomorai ミソコシを井戸へ半分見せて 直ったら全部見せるとなる。	
5712.70	nome [mebo si <?>]←(これは そばにいた村長が与えたヒホ。 村長は会津の人。)	
5721.27	monomoye <これにかかった者は、三軒 から一回米をもらってた。は たべれは直るそうだ>	
5723.60	nomme <子>	monomoraē
5751.89	monomorai 井戸様にミソコシザルを見せ ると直る。	

- ▶ A・(B)・(C)ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中での情報は地点番号欄に並べる。
- ▶ 注記の<>〔〕〔〕は厳密にする。

質問番号 036	地図番号 112	A 普通注記	ページ
項目名 ものもらい 036		(B 除いた共通語)	(35)
		(C 除いた特殊語)	

地点番号	A 語形とその注記 (B・C 除いた語形とその注)	A 注のない語形 (B・C 除いた語形とその注)
5752.94	monomorai 小豆が二三度こすく井戸へ おとせは直る	
5760.24	monomore: # 第三者がヒントを与えて 答えた。	
5771.42	N.R. (誘) monomorae	
6267.68	mebo <新>	innokui'so
6339.37	Xホイト <多>	ホイト
6349.23	ホイト <古>	
6349.80	hoito <多>	meboito
6378.70	Xエホ Xホイト (別に区別なし)	

- ▶ A・(B)・(C)ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中で情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の<>() ()は敢密にする。

質問番号	地図番号	A 普通注記	ページ
036	112		
項目名		(B 除いた共通語)	(36)
ものもらい 096		(C 除いた特殊語)	

地点番号	A 語形とその注記 [(B・C 除いた語形とその注)]	A 注のない語形 [(B・C 残した語形とその注)]
6383.77	meibo <池へアスキを入れれば直る という> イケはイドのこと也。	
6395.46	メイボ <メイボを直すには、くしを あぶって眼にもってゆく。又、 小豆を井戸に落とす。>	
6401.89	マンジヤ <古>	
6402.94	マンジヤ <古> <多く使う>	
6403.62	meboita <古>	
	memomoraï <古>	
6406.92	ホエダ <食の事、物をもらう→モ エラエと同義	モ/モラエ

モ/モラエ

- ▶ A・(B)・(C)ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中の情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の<>()〔 〕は厳密にする。

質問番号 036	地図番号 112	A 普通注記	ページ
項目名 ものもらい 036		(B 除いた共通語)	(37)
		(C 除いた特殊語)	

地点番号	A 語形とその注記 [(B・C 除いた語形とその注)]	A 注のない語形 (B・C 残した語形とその注)
6407.28	マルト (誤り)	
	メホ (1959年1月13日再調査)	
6407.43	メホ 石黒著. メエホ, ホイ.	
6412.91	menomoral <左襟を糸で<<ると直す>>	
6413.29	menomorai なおし方—自分でワラで<<る.	
6415.83	hoita (メホイとは言わないよし)	
6421.79	meboeta <新>	
6421.82	méboito: 分布から短に (室員)	
6422.93	メホイタ <新>	
	モ/モラエ <古>	

6424.20 meboita: <多く用いる>
meboito: <二つは上品下品の区別なし>

- ▶ A・(B)・(C)ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中での情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の<>()〔 〕は厳密にする。

質問番号 036	地図番号 112	A 普通注記	ページ
項目名 ものもらい 036		(B 除いた共通語)	(38)
		(C 除いた特殊語)	

地点番号	A 語形とその注記 (B・C 除いた語形とその注)	A 注のない語形 (B・C 残した語形とその注)
6424.89	hoito 直すときのおまじない—hoito hoito derja kuttjaruzo と言って、ワラシベを火にくべ て、パチ、と言えは直る。	
6426.04	meboito: <この方をよく用いる>	hoito:
6426.47	innome hoito imo:ra <犬の目の意> <古> <最古><イロの注>	おまじないの文句— meno kamisan, meno kamisan, ... sannō meni imo:raga deta, kore o gutto fuite suku:te kure, Put.

- ▶ A・(B)・(C) ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中での情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の〈〉()は厳密にする。

質問番号 036	地図番号 112	A 普通注記	ページ
項目名 ものもらい 036		(B 除いた共通語)	(39)
		(C 除いた特殊語)	

地点番号	A 語形とその注記 (B・C 除いた語形とその注)	A 注のない語形 (B・C 残した語形とその注)
6427.27	hoito: imorai (何れも同様に用いる)	
6429.30	メバチコ メホ > 两用	
6436.33	hoeto < 他人に贈りものをすると直ると いじがなせホイトというのかわからぬ>	
6436.60	ホイトオ < 音>	モノモライ
6437.07	イモラ < 昔から今でも普通に使われる>	イモリ. ホイト
6439.01	メイホ < 共. 新. 希>	メンホオ
6439.17	mebo < 井戸にミソコシ ^{半分} を見せると たら全部見せる>	
6440.67	メホイトオ []	ホイトオ

- ▶ A・(B)・(C)ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中での情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の<>() ()は厳密にする。

質問番号 036	地図番号 112	A 普通注記	ページ
項目名 ものもらい 036		(B 除いた共通語)	(40)
		(C 除いた特殊語)	

地点番号	A 語形とその注記 (B・C 除いた語形とその注)	A 注のない語形 (B・C 除いた語形とその注)
6441.55	メホエ-ト- or 平板 [エやeにはならぬ]	
6441.71	メホイト →メホエトに近い	
6448.61	メバチコ <新>	イモラ
6449.19	メホ 短とみとむ (室員)	
6450.45	メホイト- <ホイト-カテダと言う>	
6456.73	φe:to: <乞食のことをφe:to:と言う>	
	おまじない — 物をもらいに隣 へ行けは直る。	
6457.51	hoito 直すためのおまじない — deba tsuko deba tsuko	

- ▶ A・(B)・(C) ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中での情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の<>()〔 〕は敢密にする。

質問番号	地図番号	A 普通注記	ページ
036	112		
項目名		[B 除いた共通語]	(41)
ものもらい 036		[C 除いた特殊語]	

地点番号	A 語形とその注記 [B・C 除いた語形とその注]	A 注のない語形 [B・C 残した語形とその注]
6458.08	モノモライ メイボ # <とむに昔から>	
6458.26	メバチコ <新・希>	イモラ
6458.40	メバチコ <新>	イモラ
6458.91	イモラ 坊勢島では イモラ、メバチコ 両用する。	
6459.87	メバチコ <新希>	デバツコ
6460.08	メホイトオ (古)	
	メホイチ (新)	
6461.27	メホイトオ メベイトオ (ホイトという言い方もあるが 単独では用いられないようだ。 用例: ホイトガヤドオスル)	

- ▶ A・(B)・(C)ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中での情報は地点番号順に並ぶ。
- ▶ 注記の<>()は厳密にする。

質問番号 036	地図番号 112	A 普通注記	ページ
項目名 ものもらい 096		(B 除いた共通語)	(42)
		(C 除いた特殊語)	

地点番号	A 語形とその注記 (B・C 除いた語形とその注)	A 注のない語形 (B・C 残した語形とその注)
6461.53	メ ^ハ ポ ^エ ト- (be: ? be: ではない)	
6464.90	マモ ^オ ラ ?	メ ^ハ エ ^ト
6465.82	メ ^フ ゴ	
	メ ^モ ラ	
6466.16	メ ^イ ボ	
6470.11	mebo	
		井戸へ小豆をおとすと直る。
		小便のカラカラをつける直る。
		肩をむむと直る。櫛を熱く
		して当ると直る。
6472.53	? (答えず)	

- ▶ A・(B)・(C)ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中での情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の<>()は厳密にする。

質問番号 036	地図番号 112	A 普通注記	ページ
項目名 ものもらい 036		(B 除いた共通語)	(43)
		(C 除いた特殊語)	

地点番号	A 語形とその注記 (B・C 除いた語形とその注)	A 注のない語形 (B・C 残した語形とその注)
6476.93	メボ	付近 mebo 中元 メボとするが すしはなれて me:boもある ので ややぎもん。(室員)
6482.75	me:bo	<meibo というのが正しいの だろうが>
6484.43	メボ	<これができたときは、まだ出来 なかったとき、まじないに、あず きを目にはさんで、井戸の上に のぎき込み、メボ カオモク アスキ ジャツタと言いながら落 すと、すくになおるといふ。>

- ▶ A・(B)・(C)ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中での情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の<>()〔 〕は厳密にする。

質問番号 036	地図番号 112	(A) 普通注記	ページ
項目名 ものもらい 696		(B) 除いた共通語	(44)
		(C) 除いた特殊語	

地点番号	A 語形とその注記 [(B・C 除いた語形とその注)]	A 注のない語形 [(B・C 残した語形とその注)]
6485.30	メエホ	
		<目のいぼから出来た言葉であらう。小豆(あずき)をメエホの出ている方のまぶたではさんで、井戸をのぞき、それを落とすとと治癒するといまじないがあった。>
6485.82	メエホ メバチコ メバッコ ?	
		<メエホは赤くはれてうむもの。メボツというのはイホのようになっていて、うみませず、そのままいつまでもさえないもの。メバチコ、メバッコは女の子が使うことは、メエホは男の子の使うもの。>

- ▶ A・(B)・(C)ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中での情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の<>()は厳密にする。

質問番号	地図番号	A 普通注記	ページ
036	112	(B 除いた共通語)	(45)
項目名		(C 除いた特殊語)	
ものもらい 096			

地点番号	A 語形とその注記 (B・C 除いた語形とその注)	A 注のない語形 (B・C 残した語形とその注)
6487.43	メホ	長とみとむ (室員)
6491.49	mebo	(海岸部の大浜部落では me:bo といっている。)
6494.08	メホ !	<同じ位の大きさで、小さなコ ブの様な、1つまでもく っついていておらないのが ある。それをメホツという。 (メホツマはない。)>
6501.92	メホ	メホとはのはさない。
6505.60	mebo	短とみとむ (室員)

- ▶ A・(B)・(C)ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中での情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の<>()〔 〕は厳密にする。

質問番号 036	地図番号 112	A 普通注記	ページ
項目名 ものもらい 036		[B 除いた共通語]	(46)
		[C 除いた特殊語]	

地点番号	A 語形とその注記 (B・C 除いた語形とその注)	A 注のない語形 (B・C 残した語形とその注)
6507.72	メンボ: <新>	メコジキ
6512.67	me:bo・	me:bo とみとむ。ただしとみに。 mebo: あれは半長に いみがあるかもしれぬ (室員)
6516.10	モノモライ	<下側にマ-きるもののこと> メンボ:
6517.31	メンボ #	(メンボとは言いませんかという質問をしたのに対してメンボと出た。)(モノモライは(失)で、むしろメンボをこの辺りでは使用しているようだ。)

- ▶ A・(B)・(C)ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中での情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の<>〔〕[]は厳密にする。

質問番号 036	地図番号 112	A 普通注記	ページ
項目名 ものもらい 036		[B 除いた共通語]	(47)
		[C 除いた特殊語]	

地点番号	A 語形とその注記 (B・C 除いた語形とその注)	A 注のない語形 (B・C 残した語形とその注)
6517.65	メンボ <上>!	
6521.94	メボ <少>	メエボ
6523.06	mebo <me:bo の形もある>	
6525.05	me:bo monomorai <両方使う>	
6526.08	メンボ <上のまぶたにできるもの>	
	モノモライ <下のまぶたにできるもの>	
6528.06	mekojdziki monomurae <二つとも昔から普通に使 ている。>(二者の区別を聞き 出すことが出来なかった。)	
	membo <希>	

- ▶ A・(B)・(C)ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中での情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の<>()〔 〕は厳密にする。

質問番号 036	地図番号 112	A 普通注記	ページ
項目名 ものもらい 036		[B 除いた共通語]	(48)
		[C 除いた特殊語]	

地点番号	A 語形とその注記 [B・C 除いた語形とその注]	A 注のない語形 (B・C 残した語形とその注)
6528.64	membo <〔他〕>	monomorae
6532.70	メイボ	mêboか、meiboかという事を、発音意図の問題として探ろうとしたが、なかなか難しそうであった。強いていうと、発音意図は meibo、アクセントが 000 型なる故、mêbo と聞き易いという事になる。
6532.89	メイボ	メイボと長音化せず
6532.93	メーボ	メイボ (me·ebo) は、mêbo と いった長音的と思われる。

- ▶ A・(B)・(C)ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中での情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の<>()〔 〕は厳密にする。

質問番号 036	地図番号 112	A 普通注記	ページ
項目名 ものもらい 036		(B 除いた共通語)	(49)
		(C 除いた特殊語)	

地点番号	A 語形とその注記 (B・C 除いた語形とその注)	A 注のない語形 (B・C 残した語形とその注)
6536.39	membo <まぶたの上に見えるもの> monomorjæ: <まぶたの下に見えるもの>	
6537.06	monomorjæ: membo <上><共>	><普通は上のように 昔からいらているが、医者 なんかに行くと下のよう に言われる。下は上品 な言い方。>
6537.21	membo monomorjæ:	<memboは上まぶたに出 来、monomorjæ:は下まぶ たに出来るもの。上と下で名 が違ふ。>

- ▶ A・(B)・(C)ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中での情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の<>() ()は厳密にする。

質問番号 036	地図番号 112	A 普通注記 ページ
項目名 ものもらい 056		B 除いた共通語 C 除いた特殊語 (50)

地点番号	A 語形とその注記 (B・C 除いた語形とその注)	A 注のない語形 (B・C 残した語形とその注)
6539.60	monomurai [m _u の如し]	
6542.58	メバチコ (古) 現在全く用いない。	メーボ
6543.05	メンボ <上>	
6546.73	mebotji menbo mebotjin } <これらも同じように使う>	
6547.09	metjimbo [] [F] <一般農家に多いようだ>	
6547.24	monomorai	<なおたあと 及びかなり なおったものを [metjirin] という。> ([monomorai]は 最盛期のものと思われる。)

- ▶ A・(B)・(C)ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中での情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の<>()〔 〕は厳密にする。

質問番号 036	地図番号 112	A 普通注記	ページ
項目名 ものもらい 036		(B 除いた共通語)	(51)
		(C 除いた特殊語)	

地点番号	A 語形とその注記 (B・C 除いた語形とその注)	A 注のない語形 (B・C 残した語形とその注)
6547.67	monomurai # 最初 metjiri という 解答を得たが <これは目 のふちがひきつれたように なっているもの> とのこと。	
6547.79	metjimbo <卑> <幾分わるい言葉> monomorai <こちらの方が多く使わ れると思う>	
6550.96	モノモライ <多>	メバツホ
6551.18	ナツムシ <夏に出やすい>	
6551.77	mebatjiko (アクセント「メバチコ」)	

- ▶ A・[B]・[C] ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中での情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の<>()は厳密にする。

質問番号 036	地図番号 112	A 普通注記	ページ
項目名 ものもらい 656		[B 除いた共通語]	(52)
		[C 除いた特殊語]	

地点番号	A 語形とその注記 [B・C 除いた語形とその注]	A 注のない語形 [B・C 残した語形とその注]
6552.46	mebatʃiko (アクセントは「メバチヨ」)	
6552.88	mebatʃiko <古>	mekasa
6552.90	me:bo (「メーボ」)	
6553.22	mebo: (「メボ」というアクセントがある。)	
6553.52	mebo (アクセント「メボ」)	
6553.83	mebo mebatʃiko <「メバチヨ」の音が新しく 使い出したもので、やはり「メボ」 の音が一般的である。>	
6553.99	mebo (「メボ」)	

- ▶ A・(B)・(C)ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中での情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の<>()は厳密にする。

質問番号 036	地図番号 112	普通注記 ページ
項目名 ものもらい 036		(B 除いた共通語) (C 除いた特殊語) (53)

地点番号	A 語形とその注記 (B・C 除いた語形とその注)	A 注のない語形 (B・C 残した語形とその注)
6556.03	mebottʃiː (~tʃi と ~tʃiː の中間くらい である。)	
6556.60	メホː <古>	メンホː
6563.43	mebatʃiko <「メバチコ」の方が多し>	mebo
6563.84	mebo <これをよく使う>	
	mebottʃo <あまり使うことはない>	メホとメバチコの contamination と見、しかも mibatʃiko の音韻に分類 する。(室量)
	mebatʃiko []	
6564.51	mebo <古>	
	mebatʃiko <新>	

- ▶ A・(B)・(C)ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中での情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の<>()〔 〕は厳密にする。

質問番号	地図番号	A 普通注記	ページ
036	112	(B 除いた共通語)	(54)
項目名		(C 除いた特殊語)	
ものもらい 036			

地点番号	A 語形とその注記 (B・C 除いた語形とその注)	A 注のない語形 (B・C 残した語形とその注)
6565.56	mebo・ 短とみとむ (室員)	
6567.79	me:tombo <古くからの通称>	mebo
6571.34	mebatsuko (アクセントは「メバツコ」)	
6572.04	mebatjiko (アクセントは「メバチコ」であつた。)	
6573.17	metjatja } (「上品」という説明は、 mebo } 外来者と話をする時に 使うことはだから、上品 と感じるらしい。その は「メチヤチヤ」である。)	

- ▶ A・[B]・[C] ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中での情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の<>〔〕〔〕は厳密にする。

質問番号 036	地図番号 112	A 普通注記	ページ
項目名 ものもらい 036		[B 除いた共通語]	(55)
		[C 除いた特殊語]	

地点番号	A 語形とその注記 (B・C 除いた語形とその注)	A 注のない語形 (B・C 残した語形とその注)
6573.71	mebatsiko (一般に用いる) meboitsi 治療法(室員)	
	<p>→ <「メバチコ」が多くできるとこまるので、すぐ「メボイチ」と言いかえる習慣がある。> (これは「メバチコ」の8の数が多数を意味するので、その咒言として、1の数にかえ、少数で、くいとめようという気持ちによる 後次的な命名である)</p>	
6574.06	mebo	* (はじめは [Koyime] と言

↓

- ▶ A・(B)・(C)ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中での情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の<>()は厳密にする。

質問番号 036	地図番号 112	A 普通注記	ページ
項目名 ものもらい 036		(B 除いた共通語)	(56)
		(C 除いた特殊語)	

地点番号	A 語形とその注記 (B・C 除いた語形とその注)	A 注のない語形 (B・C 残した語形とその注)
	ていたが、くり返し尋ねたら [mebo]を得た。)	
6575.40	mebo・ 短とみとむ (室員)	
6580.06	メバツコ <新>	メボ
6581.52	デバツク <デバツコという人も多い>	
6583.19	imo <「メニモ デケケ」という。> (従って、単に「モ」というだけで、 指で示せばわかるし、また 「メニモ デケケ」の表現をとるので、 「モ、(いはのニモ)というだけで わかるのである。)	

- ▶ A・(B)・(C)ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中での情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の〈〉()は厳密にする。

質問番号 036	地図番号 112	A 普通注記	ページ
項目名 ものもらい 036		(B 除いた共通語)	(57)
		(C 除いた特殊語)	

地点番号	A 語形とその注記 (B・C 除いた語形とその注)	A 注のない語形 (B・C 残した語形とその注)
6583.41	imomoraï <古>	
	mebatsjiko <新>	
6583.45	mebatsjiko (「メバツコ」) <これを治すお ないとして、ツケのくしを摩 擦させ熱して患部に当てる。 また葉のシンを目の前で 結ぶとよい。>	
6583.93	imomoraï <新>	imoza
6584.90	memo:da <古>	mekoziki
6591.02	テバツコ (テバツク、メモ、ままツク、 などと言う。)	

- ▶ A・(B)・(C)ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中での情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の<>()[]は厳密にする。

質問番号	地図番号	A 普通注記	ページ
036	112		
項目名		(B 除いた共通語)	(58)
ものもらい 036		(C 除いた特殊語)	

地点番号	A 語形とその注記 (B・C 除いた語形とその注)	A 注のない語形 (B・C 残した語形とその注)
6591.81	メバツコ <少>	デバツコ
6592.35	mebatsjiko (アクセント「メバチヨ」)	
6593.30	imora } なおし方: もち米でワン mekodziki [コ] } コロを作って、藁でつた。 櫛で焼いた。	
6604.38	メッコジキ <古>	モノモライ
6607.03	monomorai (monomore:)と訛らない 点が相模方言圏内と異なる。 相模原の同項目参照。[-ai] を含む音節について、このような対 応を示す例は多い。)	

- ▶ A・[B]・[C]ごとに別紙を使用する。
 ▶ その中での情報は地点番号順に並べる。
 ▶ 注記の<>〔〕は敢密にする。

質問番号 036	地図番号 112	A 普通注記	ページ
項目名 ものもらい 036		[B 除いた共通語]	(59)
		[C 除いた特殊語]	

地点番号	A 語形とその注記 [B・C 除いた語形とその注]	A 注のない語形 (B・C 残した語形とその注)
6610.77	mekoziki [コ<多><古<から>	monomuraai
	[2.3軒コジキをすると治る]	
6611.61	mekoziki <mekomzi という人もある>	
6613.54	nome [ふるいの目で向うを見ると直る]	
6617.75	モノモレ	
	<まじないは、井戸にふるいを 半分みせる。そして直ったとき 全部みせる>	
6618.51	toraho:mu <「お日待ち」などのような人の 多く寄る時に、御飯などを もらうとのおるといわれる>(fL	

- ▶ A・[B]・[C] ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中での情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の < > () [] は厳密にする。

質問番号 036	地図番号 112	A 普通注記	ページ
項目名 ものもらい 036		[B 除いた共通語]	(60)
		[C 除いた特殊語]	

地点番号	A 語形とその注記 [B・C 除いた語形とその注]	A 注のない語形 [B・C 残した語形とその注]
	かに「目のふちのふきもの」のこと に間違いない。	
6621.34	mekodziki <monomorai から変って そういうようになったんだな>	monomorai
6623.28	メコンジキ <希>	モノモライ
6626.30	monomorae Ě <ざるを持って隣近所5軒 穀物をもらって歩けば直る。 そのとき橋を渡ってはいけない>	
6626.46	monomorai <目玉へでざるのは[mebo:]>	
6626.71	monomorae: # (この項目でははっき)	

- ▶ A・[B]・[C] ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中で情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の〈 〉〔 〕は厳密にする。

質問番号 036	地図番号 112	A 普通注記	ページ
項目名 ものもらい 036		[B 除いた共通語]	(61)
		[C 除いた特殊語]	

地点番号	A 語形とその注記 [B・C 除いた語形とその注]	A 注のない語形 [B・C 残した語形とその注]
	<p>[-æ:]が出た。おそらく若い頃には、[-ai, -æ]等はみな[-æ:]であったろう。) 足柄方面は静岡方言との共通性あり。(なお項目 269, 040, 041 参照。)</p>	
6630.82	mekoũziki <子に向かつて> } 隣から何か monomuraï } もらって来ると 直る。	
6632.15	mekondziki ! <目を食のこと>	

- ▶ A・[B]・[C] ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中での情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の< >〔 〕は厳密にする。

質問番号 036	地図番号 112	A 普通注記	ページ
項目名 ものもらい 036		[B 除いた共通語]	(62)
		[C 除いた特殊語]	

地点番号	A 語形とその注記 [B・C 除いた語形とその注]	A 注のない語形 [B・C 残した語形とその注]
6632.64	mekondziki <古> menebutsu (説明させるとこれは麦粒腫でないかもしれないかった。)	
6632.88	mekondziki 古	mekodziki
6635.87	mehadako ((OFに分類した) 空)	
6650.12	memomorai 新	menomorai
6665.25	me'pi: ((OFに分類した一室))	
6667.81	monomorai 誘	
6677.70	meppaitso <新>	

- ▶ A・(B)・(C) ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中での情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の〈 〉〔 〕は厳密にする。

質問番号 036	地図番号 112	A 普通注記	ページ
項目名 ものもらい 036		[B 除いた共通語]	(63)
		[C 除いた特殊語]	

地点番号	A 語形とその注記 [B・C 除いた語形とその注]	A 注のない語形 [B・C 残した語形とその注]
6686.75	meppaitjo: 〈ミソコシジャルを持って#戸の水を覗くとなおる〉	
6701.46	monomore: (この語末は少しだけしかのはさない。)	
6711.16	monomore: (?)	
7218.09	innokuso 誘, 朝寝起きに東を向いて、となえことを言いなから、草履のソリのワラで差すと直る。	
7218.26	innokuso 草履の尻で差すまねをする直る。	

- ▶ A・[B]・[C] ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中での情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の< >〔 〕〔 〕は厳密にする。

質問番号 036	地図番号 112	A 普通注記	ページ
項目名 ものもらい 036		[B 除いた共通語]	(64)
		[C 除いた特殊語]	

地点番号	A 語形とその注記 [B・C 除いた語形とその注]	A 注のない語形 [B・C 残した語形とその注]
7218.58	innokuso <犬の糞の意> 草履の尻で。 人に知られないように触れると 直る。	
7229.75	metjimbo <!> okjakusan <新>	
7238.12	innokuso <希>	memorja:
7238.40	innokuso <希>	memorja:
7238.82	innokuso <希>	memorja:
7239.24	hotokisama <とこのなかの研わらず突く と直る。>	

- ▶ A・[B]・[C] ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中での情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の< >〔 〕は厳密にする。

質問番号 036	地図番号 112	A 普通注記	ページ (65)
項目名 ものもらい 094		[B 除いた共通語] [C 除いた特殊語]	

地点番号	A 語形とその注記 [B・C 除いた語形とその注]	A 注のない語形 [B・C 残した語形とその注]
	monomora: []	
7239.41	okjakusama <上>	innokuso
7239.85	インノソ	
	[下] <これを使うものはあるが自分は使ったことはない。>	
7246.82	memoraï	
	大豆を目をなぞって#戸の中へ2.3粒投げる。目に大豆をはさんでそれを#戸へ落とす。	
7259.22	innokuso memoraï <F品>	> <末子の女の人にカマドの

- ▶ A・[B]・[C]ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中での情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の< >〔 〕は厳密にする。

質問番号 036	地図番号 112	A 普通注記	ページ
項目名 ものもらい 0%		[B 除いた共通語]	
		[C 除いた特殊語]	(66)

地点番号	A 語形とその注記 [B・C 除いた語形とその注]	A 注のない語形 [B・C 残した語形とその注]
	ワラ (susa という) をとって 患部に刺してもらう >	
7266.09	baka (baka とはいえは 大きくならない といわれているので ふさげまこ いうことも多いとのことである。)	mebura
7275.07	インノクソ 犬の糞の意味	
7279.93	mesimorai []	
7303.29	meibo < monomorai (英)(新) と いう人もいる。 >	
7307.48	memora < この方を多く使う >	meibo

- ▶ A・[B]・[C] ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中での情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の < > () [] は厳密にする。

質問番号 036	地図番号 112	A 普通注記	ページ (67)
項目名 ものもらい 036		[B 除いた共通語]	
		[C 除いた特殊語]	

地点番号	A 語形とその注記 [B・C 除いた語形とその注]		A 注のない語形 [B・C 残した語形とその注]
7312.11	momomōrai	メイボなし	
7313.34	inmokuso	(犬の糞の意)	mēibo
7313.68	mēibo	(多)	monōmore:
	haito	(多少ふさけた言い方)	
7320.59	oşimesama	[昔から荒神様の煉を つける時、おぐうんぞ 早うようなるという。] (老人は子供の時したという。)	
7321.46	oşimesama inmokuso moraimon	} #筒にシヨオケ(さる)を 半分見せて、何とか言々と 直る。	

- ▶ A・(B)・(C) ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中での情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の〈 〉() [] は厳密にする。

質問番号 036	地図番号 112	A 普通注記	ページ (68)
項目名 ものもらい 6%		[B 除いた共通語] [C 除いた特殊語]	

地点番号	A 語形とその注記 [B・C 除いた語形とその注]	A 注のない語形 [B・C 残した語形とその注]
7322.21	oqimesama <女が使う>	
	innokuso <男が使う>	
7322.81	monomorai (多)	memorai
7323.17	hoito (物を人の意)	monomorai
7324.24	hoito memomorai (ホイトは「食」である。 モノモライの転化か)	
7324.96	innokuso (聞くことあり)	monomorai
7326.41	memorai éはやや狭いe	
7329.39	meibo 短とはしにくいがすぐ いし分布からも meiboに 含ませよう。(室員)	

- ▶ A・(B)・(C) ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中での情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の< > () [] は厳密にする。

質問番号 036	地図番号 112	A 普通注記	ページ
項目名 ものもらい 656		[B 除いた共通語]	(69)
		[C 除いた特殊語]	

地点番号	A 語形とその注記 [B・C 除いた語形とその注]	A 注のない語形 [B・C 残した語形とその注]
7329.57	meibo <きちんといえは meibo で(は)>	mebo
7330.31	オヤ7サン イン7ソ <F>	} <犬糞をつけたら治るとい>
7330.77	innokuso <希>	naiwazu
7332.97	innokuso oqimesama	} (innokuso は人が嫌 うので、オキ7サマという。)
7338.48	mebo	長とみとむ (室員)
7340.24	innokuso <稀>	naiwazu
7340.27	naiwazu ^又 innokuso	} (区別せず両様にいう由、名い わすの方がいづらか上品か。)

- ▶ A・[B]・[C]ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中での情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の< >〔 〕は厳密にする。

質問番号 036	地図番号 112	A 普通注記	ページ
項目名 ものもらい 036		[B 除いた共通語]	(70)
		[C 除いた特殊語]	

地点番号	A 語形とその注記 [B・C 除いた語形とその注]	A 注のない語形 [B・C 残した語形とその注]
7341.42	maiwazu 名言わすの意であるが近傍で できかれる nja:wazu の形は 出なかった。	
7341.47	innokuso <古.下>	memore:
7342.72	memore (innokusoを聞いた 知っているし使う人も いること。osimesanも 少ないといふ。)	
7349.07	mebo <beibo no tsumori da[0:]>といっていた。(beibo はmeiboであろうが発音は こうきこえた。)	

- ▶ A・(B)・(C) ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中での情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の〈 〉() [] は厳密にする。

質問番号 036	地図番号 112	A 普通注記	ページ (71)
項目名 ものもらい 036		[B 除いた共通語]	
		[C 除いた特殊語]	

地点番号	A 語形とその注記 [B・C 除いた語形とその注]	A 注のない語形 [B・C 残した語形とその注]
7350.21	innokuso <子><下>	metoppo:
7350.96	innokuso memorja:	
	<下にできたのがインノクソ マ上にできるのがメモリア だ。メモリアのオカたちが わるい。咒語をのへマ下から 吹きあげたりする。>	
7352.14	インノクソ <古・希>	メシ
7352.38	ogimesan (上品な語)	innokuso
7353.03	menebuto (多い)	innokuso
7353.51	オヒメサン <?>	インノクソ

- ▶ A・(B)・(C) ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中での情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の< > () [] は厳密にする。

質問番号 036	地図番号 112	A 普通注記	ページ
項目名 ものもらい 036		[B 除いた共通語]	(72)
		[C 除いた特殊語]	

地点番号	A 語形とその注記 [B・C 除いた語形とその注]		A 注のない語形 [B・C 残した語形とその注]
7354.23	インノクソ	<若い女性はオヒメサンという>	
7355.48	urimon	<希>	memorai
7356.70	innokuso	<犬の糞なり>	
7359.78	mebo	<!>	
7361.17	メエル	<新>	インノクソ
7361.82	more	<このわらで突いて膿を 出すと直る。>	
7362.42	インノクソ	<多少卑>	オヒメサン
7363.12	インノクソ	(下)	オヒメサン
7363.59	オヒメサン	# (下まぶたにできたものを ↓)	

- ▶ A・(B)・(C) ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中での情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の < > () [] は厳密にする。

質問番号 036	地図番号 112	A 普通注記	ページ (73)
項目名 ものもらい 036		[B 除いた共通語] [C 除いた特殊語]	

地点番号	A 語形とその注記 [B・C 除いた語形とその注]	A 注のない語形 [B・C 残した語形とその注]
	オヒメサン, 上まけたにできた ものを インノクソ と言いわけ ることが多いという。総称は オヒメサンであらうという。)	
7364.34	オヒメサン <希>	
7372.03	オヒメサン # <男女ともにオヒメサンとい>	
7372.27	オヒメサン <新・希>	インノクソ
7372.96	オヒメサン <[インノクソ]>	
7373.56	オヒメサン (新・希)	インノクソ
	モライ (新・希)	

- ▶ A・[B]・[C] ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中での情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の< >〔 〕は厳密にする。

頁 問 番 号 036	地 図 番 号 112	A 普通注記	ページ
項 目 名 ものもらい 056		[B 除いた共通語]	(74)
		[C 除いた特殊語]	

地 点 番 号	A 語形とその注記 [B・C 除いた語形とその注]	A 注のない語形 [B・C 残した語形とその注]
7373.92	オヒメサン <新>	インノクソ
7373.99	オヒメサン <新>	インノクソ
7374.15	オヒメサン [] [新]	インノクソ
7377.27	mēibo <古>	mēnebuto
7381.38	オヒメサン <新, 希>	
	インノクソ #	
7381.47	NK <現地の他の人によつてしらべたところでは、オヒメサン、インノクソであろうと推定する>	
7382.01	megasa <櫛を畳にあつて突くとおわる>	

- ▶ A・[B]・[C] ごとに別紙を使用する。
 ▶ その中での情報は地点番号順に並べる。
 ▶ 注記の〈 〉〔 〕は厳密にする。

質問番号 036	地図番号 112	A 普通注記	ページ (75)
項目名 ものもらい 036		[B 除いた共通語] [C 除いた特殊語]	

地点番号	A 語形とその注記 [B・C 除いた語形とその注]	A 注のない語形 [B・C 残した語形とその注]
7382.58	インノクソ <女子供はオメサンという>	
7384.16	inumorai inumorja: (rai が rja: となるのが この土地の方言音)	
7386.63	innokuso <日常語> menebuto <新>	
7390.26	センモン <希>	モイヤア
7390.70	モライゾオ <希>	ゼンモン
7391.94	メフクンジ (御所浦村横浦島では メバチコ, モイヤアフクンジン という由。(横浦島の老婆に船中マキ)	

- ▶ A・[B]・[C] ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中での情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の< >〔 〕[]は厳密にする。

質問番号 036	地図番号 112	A 普通注記	ページ
項目名 ものもらい 036		[B 除いた共通語]	(76)
		[C 除いた特殊語]	

地点番号	A 語形とその注記 [B・C 除いた語形とその注]	A 注のない語形 [B・C 残した語形とその注]
7392.33	オヒメサン <新> (? <失>)	インノクソ
7392.94	オヒメサン <新> <きわめて希>	インノクソ
7395.25	innokuso <古>	menebu
7400.11	mebo <眼球にできた点は maruto という。>	
7400.15	mebo <meibo なのだろうか mebo とだけいう。>	
7401.60	meibo mepiibo ga dekita no ようにいう。	
	memo ibo この注により (memo) は ibo の説明とみる。	

- ▶ A・[B]・[C] ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中での情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の< >〔 〕は厳密にする。

質問番号 036	地図番号 112	A 普通注記	ページ
項目名 ものもらい 050		[B 除いた共通語]	(77)
		[C 除いた特殊語]	

地点番号	A 語形とその注記 [B・C 除いた語形とその注]		A 注のない語形 [B・C 残した語形とその注]
7403.21	me:ibo	[mebo]	
7404.12	me:bo	(me-ibo という意識はないらしい。)	
7414.87	meibo	<古>	mebo
7416.34	mebo(:)	<かまどのチリをつけたメボツケと3度くりかえしていうと直るといったものだ>	
7431.08	maruto	(<maruto ga deta)の ようにいう由。)	
7500.24	メバツク メバチコ	<子> (共通語という意識からである。) →(メバツクという人もある。)	

- ▶ A・[B]・[C] ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中での情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の〈 〉〔 〕は厳密にする。

質問番号 036	地図番号 112	A 普通注記	ページ
項目名 ものもらい 036		[B 除いた共通語]	(78)
		[C 除いた特殊語]	

地点番号	A 語形とその注記 [B・C 除いた語形とその注]	A 注のない語形 [B・C 残した語形とその注]
7500.43	デバツク 〈少〉	デバツコ
7500.66	デバツク (メホシとむいう。)	
7502.89	momomoyai 〈古〉	mebatsjiko
7502.91	メフク〇	〈目の上まぶたにできたもの。〉
	イモク	〈目の下まぶたにできたもの。〉
		以上区別して呼んでいる。
		〈総称名はない。〉
7504.27	monomoyai あるいは [共] か?	
7511.66	メフク〇	〈多く用いる〉
7512.43	メフク〇	〈古〉
		モノモライ

- ▶ A・[B]・[C] ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中での情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記のく > () [] は厳密にする。

質問番号 036	地図番号 112	A 普通注記	ページ
項目名 ものもらい 036		[B 除いた共通語]	(79)
		[C 除いた特殊語]	

地点番号	A 語形とその注記 [B・C 除いた語形とその注]	A 注のない語形 [B・C 残した語形とその注]
7521.16	メバチコ <メボシという人もある>	
7521.79	メバチコ <ゴキノソキともいう。>	
7522.94	ゴキノソキ <ゴキは椀。椀のそきの意>	
7523.30	メバチコ <ゴケノソキ, メバチとも いう人がある。>	
7533.11	メバチコ <イモモライ, ゴキノソキ という人もある。>	
7659.31	monomure: 誘	numme
7659.51	numme 誘	
7659.53	monomorai 目のなかに来るのを numme と言う。	

- ▶ A・(B)・(C) ごとに別紙を使用する。
 ▶ その中での情報は地点番号順に並べる。
 ▶ 注記の< >〔 〕は厳密にする。

質問番号 036	地図番号 112	A 普通注記	ページ
項目名 ものもらい 036		[B 除いた共通語]	(80)
		[C 除いた特殊語]	

地点番号	A 語形とその注記 [B・C 除いた語形とその注]	A 注のない語形 [B・C 残した語形とその注]
7659.62	numme 誘	
8229.96	naraji <普通> ("名無し"の訛 りであらう。)	
	innokuso <希>	
8239.31	innokuso ennokuso * (語頭のイはエに発音する 傾向。その場合は [e]。 本来のイは [je])	
8300.11	ジエンモン (上)	
	クンジン (下)	
8300.80	ジエンモン (卑語というほどでもないが 負安いことはたいう。)	メモラッ

- ▶ A・[B]・[C] ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中での情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の<>〔〕は厳密にする。

質問番号 036	地図番号 112	A 普通注記	ページ
項目名 ものもらい 030		[B 除いた共通語]	(81)
		[C 除いた特殊語]	

地点番号	A 語形とその注記 [B・C 除いた語形とその注]		A 注のない語形 [B・C 残した語形とその注]
8301.19	メネアト	<古くからいる>	
8301.76	メモレ	<古>	モノモライ
	インノクソ	<古>	
8302.91	インノクソ	# <オヒメサンとは言わず>	
8303.13	immokuso	(多い) <meta, およびその 単語 metaʃippie:, me taʃikuriN. ぶつぶつで て、たたれるもので immok so とは別 >	
8303.47	インノクソ メネアト	! 希 [オヒメサン] 被調査者は知らない。	

- ▶ A・[B]・[C] ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中での情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の < () [] は厳密にする。

質問番号 036	地図番号 112	A 普通注記	ページ
項目名 ものもらい 036		[B 除いた共通語]	(82)
		[C 除いた特殊語]	

地点番号	A 語形とその注記 (B・C 除いた語形とその注)	A 注のない語形 [B・C 残した語形とその注]
8303.84	ナナシ <新>	イノクソ
8306.04	mebo <普通使う>	innokuso
8306.42	innokuso ! <老人が多く言う>	menebu
8310.87	menettsu <さんざいに発音する>	memehuto
8311.41	namotazu <希> (名もたずの義)	innokuso
8312.33	menetto <古> } (宮え城町の調査では innokuso <新> } 新古が逆である)	
8312.75	menettsu メネツトの訛形。	
8313.84	memore <多> …この方を多く使うの意	immore
8315.46	meibo ? (色R聞いたが、その他の)	



- ▶ A・(B)・(C) ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中での情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の< >〔 〕は厳密にする。

質問番号 036	地図番号 112	A 普通注記	ページ
項目名 ものもらい 036		[B 除いた共通語]	(83)
		[C 除いた特殊語]	

地点番号	A 語形とその注記 [B・C 除いた語形とその注]	A 注のない語形 [B・C 残した語形とその注]
	形は聞き出せなかった。第三者も metbo と答えた。	
8321.58	innokuso	<従来の方言として用いて来た>
	menebuto	<新><現在はこうに言う> (上村田, 大口市山野と逆になる)
8331.17	innokuso	<menebito という人がある>
8331.98	innoko	オカマサマのねんどの物のワラをとって innoko に近づけると直る。

- ▶ A・(B)・(C) ごとに別紙を使用する。
 ▶ その中での情報は地点番号順に並べる。
 ▶ 注記の〈 〉〔 〕は厳密にする。

質問番号 036	地図番号 112	A 普通注記	ページ
項目名 ものもらい 036		[B 除いた共通語]	(84)
		[C 除いた特殊語]	

地点番号	A 語形とその注記 [B・C 除いた語形とその注]	A 注のない語形 [B・C 残した語形とその注]
8332.59	immoe (immore から来た)	
8334.63	memore <多く使う>	mono
8335.11	meibo <最近のことは>	memore
8335.83	imore <古>	mebatjiko
8341.12	innobebe 〔 〕# 同町出身嫁の助言	
8342.35	menesito <希>	baka !
8342.69	immore <山のハイハイカスラを折ると汁が出る。これを口に含んで吹きかけると直るといふ。>	

- ▶ A・[B]・[C] ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中での情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の< >〔 〕は厳密にする。

質問番号 036	地図番号 112	A 普通注記	ページ
項目名 ものもらい 056		[B 除いた共通語]	(85)
		[C 除いた特殊語]	

地点番号	A 語形とその注記 [B・C 除いた語形とその注]	A 注のない語形 [B・C 残した語形とその注]
8352.92	innokuso <頭の毛を2本よっつづく。 カマドの土の中のワラをとっつく>	
8372.47	innokuso <古> immore <新>	
8373.43	imore (⊕innokusoという。浜川 氏はどうかと聞いたがハッ キリしない。)	
9322.52	meibo <多し>	innokuso
0247.31	ibire <新>	ibiri
0256.76	ibiri・ (<半長音>)	

- ▶ A・(B)・(C) ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中の情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の〈〉()は厳密にする。

質問番号 036	地図番号 112	A 普通注記 ページ
項目名 ものむらい		(B 除いた共通語) (C 除いた特殊語) (1)

地点番号	A 語形とその注記 (B・C 除いた語形とその注)	A 注のない語形 (B・C 残した語形とその注)
0840.33	monomorai <少>	meppa <多>
0873.94	monomorai <あとで言うようになった。>	meboji <子どもは3.5才か そういていたので使った。>
		hoji <子どもの時>
		meppa <そのあとで多くつた。>
1773.27	モノモライ <新>	メッパ
2750.44	モノモライ <新>	メッパ
4609.25	monomorae [新]	morumori
4629.43	monomorai <上>	monomorie
4666.42	monomorae <共>	meunguri

- ▶ A・(B)・(C)ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中での情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の<>() ()は厳密にする。

質問番号 036	地図番号 112	A 普通注記
項目名 ものもらい 036		(B 除いた共通語)
		(C 除いた特殊語) (2)

地点番号	A 語形とその注記 [B・C 除いた語形とその注]	A 注のない語形 [B・C 残した語形とその注]
4712.54	monomole: <新>	hoedo: <本当は食の 意だがものもらいの 意に転用したもの>
4723.14	monōmoræL <新>	baga mono 動詞的にはmono denu とわい。
5599.41	モノモライ <他>	メコジキ
5605.70	monomoraæ <新>	monomone <古>
5611.81	monomorai (上) (これを最初に 答えた)	その他

- ▶ A・(B)・(C)ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中での情量は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の<>() [] は厳密にする。

質問番号 036	地図番号 112	A 普通注記 ページ
項目名 ものもらい 036		(B 除いた共通語) (C 除いた特殊語) (3)

地点番号	A 語形とその注記 (B・C 除いた語形とその注)	A 注のない語形 (B・C 残した語形とその注)
5623.42	monomorai <共>	monogure
5625.91	monomoraе <希><新><共>	meppatsu [monomurae]
5631.75	monomorai <新>	mekkoziki
5633.96	monomorai <共>	koziki
5639.80	モ/モウイ <新>	メカゴ <古>
5642.67	monomorai [] <上>	mekoziki
5645.43	モ/モライ <新>	メカゴ <古>
5647.56	モ/モライ <新>	メカゴ <古>
5652.06	monomorai <上>	mekodjiki
5652.37	monomorai <共>	[mekoziki]

- ▶ A・(B)・(C)ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中での情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の<>()〔 〕は厳密にする。

質問番号 036	地図番号 112	A 普通注記 ページ
項目名 ものもらい 056		(B 除いた共通語) (C 除いた特殊語) (4)

地点番号	A 語形とその注記 (B・C 除いた語形とその注)	A 注のない語形 (B・C 残した語形とその注)
5652.96	monomorai <上>	mekkodziki
5653.60	monomorae <上共>	mekano
5653.65	monomorae <新>	mekano
5661.68	monomorai <共><おとない感じがある>	mekkoziki
5663.68	monomorae <共>	mekano
5670.47	monomorai <新しいことは>	mekkodziki
		metjimbo <古> この地は
		「おと」のことを mettok
		言っている。
5671.38	monomorai <共>	mekkoziki

- ▶ A・(B)・(C)ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中での情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の<>()〔 〕は厳密にする。

質問番号 036	地図番号 112	A 普通注記	ページ
項目名 ものもらい 036		(B 除いた共通語)	(5)
		(C 除いた特殊語)	

地点番号	A 語形とその注記 [(B・C 除いた語形とその注)]	A 注のない語形 [(B・C 残した語形とその注)]
5672.75	monomorai <希>	mekodziki
5680.98	monomorai <共>	mekodziki, metjimbo
5684.11	monomorai <新> <よそからはいた>	mekago
		mekkoziki <新> <よそからはいた>
5686.31	monomorai <希>	mekago <メカゴとは本来目のあるサルのこと。ここではmeke:と書く。民間治療法に、井戸このmeke:を半分見せて直してくれるなら全部見せるというのがある。meke:をなくすも

- ▶ A・(B)・(C)ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中での情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の<>()は厳密にする。

質問番号 036	地図番号 112	A 普通注記 ページ
項目名 ものもらい 036		(B 除いた共通語) (C 除いた特殊語) (6)

地点番号	A 語形とその注記 (B・C 除いた語形とその注)	A 注のない語形 (B・C 残した語形とその注)
		目の多いものなら節で も何でもよい くよきで物をもらって食 うと治る。
5689.98	monomorai <共>	#monomore
5690.12	monomorai <新・共>	mekkoziki
5692.53	monomorai <共> <最近言うようにした>	mekoziki
5703.70	monomore: <新>	nomme
6349.23	モ/モライ <新>	ホイト <古>
6401.89	モ/モラエ <新>	マンジョ <古>

- ▶ A・(B)・(C)ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中での情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の<>()は厳密にする。

質問番号 036	地図番号 112	A 普通注記 ページ
項目名 ものもらい 036		(B 除いた共通語) (C 除いた特殊語) (7)

地点番号	A 語形とその注記 [B・C 除いた語形とその注]	A 注のない語形 (B・C 残した語形とその注)
6402.94	モ/モラエ <新>	マンシヤ <古><多く使う>
6415.83	momomorai <新・上・稀>	hoita (ホイタとは言わ ないよし)
6423.75	momomorai <聞いたことのある程度>	mebito:
6509.43	モ/モライ <他・希>	メコジキ
6517.31	モ/モライ (共)	メンホ: (メンホとは言いま んかという質問をしたの に対して、メンホと出た。) (モ/モライは(英)でむ しろこの辺りではメンホ を使用しているようだ。)

- ▶ A・(B)・(C)ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中での情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の<> () ()は厳密にする。

質問番号 036	地図番号 112	A 普通注記 ページ
項目名 ものもらい 036		(B 除いた共通語) (8) (C 除いた特殊語)

地点番号	A 語形とその注記 (B・C 除いた語形とその注)	A 注のない語形 (B・C 残した語形とその注)
6519.43	モノモライ <他>	メコジキ
6529.15	モノモライ <共>	メコジキ
6600.53	monomorai <共上>	mekodziki
6601.25	monomorai <共上>	mekoziki
6631.53	monomurai 新	mekoziki
6633.27	monomorai: 新	memebutsu
6635.20	monomorai 新	meboji
6635.87	monomorai 新	mehadako
6636.05	monomorai 新	meboji
6642.58	monomorai 新	mekoziki

- ▶ A・(B)・(C)ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中の情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の<>() ()は敢密にする。

質問番号 036	地図番号 112	A 普通注記 ページ
項目名 ものもらい 036		(B 除いた共通語) (C 除いた特殊語) (9)

地点番号	A 語形とその注記 [B・C 除いた語形とその注]	A 注のない語形 [B・C 残した語形とその注]
6643.15	monomorai 上	mekōziki
6643.16	monomorai 新	mekōziki
6645.01	monomorai 新	mempā: ,mekōziki
6662.38	monomorai 上	mē'pa
6665.25	monomorai <新>	me'pi:
6686.75	monomurai <新>	meppaitso: <ミソシジ ルを持って井戸の水を覗 <とさる。>
7335.93	monomore <希>	memore:
7357.31	monomorai <新>	meibo

- ▶ A・(B)・(C)ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中の情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の<>() ()は厳密にする。

質問番号 036	地図番号 112	A 普通注記 ページ
項目名 ものもらい 036		(B 除いた共通語) (C 除いた特殊語) (10)

地点番号	A 語形とその注記 (B・C 除いた語形とその注)	A 注のない語形 (B・C 残した語形とその注)
7373.23	モノモライ <希>	インノクソ
7390.75	モノモライ <新>	ジュムモン
7513.01	モノモライ <共>	メコジキ
7513.69	モノモライ <共>	メコジキ
7523.05	モノモライ <共>	メコジキ
7523.27	モノモライ <やや新しい語のように 思う。>	メコジキ

- ▶ A・(B)・(C) ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中での情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の<>() [] は厳密にする。

質問番号	地図番号	A 普通注記	ページ
036	112	(B 除いた共通語)	
項目名		(C 除いた特殊語)	(1)
ものもらい			

地点番号	A 語形とその注記 (B・C 除いた語形とその注)	A 注のない語形 (B・C 残した語形とその注)
1859.84	mebosi <眼球にできる>	meppa <今も> *
2722.67	メホシ ? (目の玉に出るのかな)	メッパ
2771.64	mebosi <なかなか直らない病気>	*nome
4638.43	jare jare [] <下まぶたに出来たものに 限る。>	momore moremore <どちらも縦称 であり。又は 上まぶた にできたものもらい である。>
4659.85	moguro <立派なことは> (ホテロをモノモライの上品な 言葉だといったが、考えちがひか)	monomoral

- ▶ A・[B]・[C] ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中での情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の<>〔 〕は厳密にする。

質問番号 036	地図番号 112	A 普通注記 ページ
項目名 ものもらい 036		(B 除いた共通語) (C 除いた特殊語) (2)

地点番号	A 語形とその注記 (B・C 除いた語形とその注)	A 注のない語形 (B・C 残した語形とその注)
4666.17	Φungguri	meΦungguri
4687.01	tʃo:dziN tʃo:tʃiN (改まった発音)	meTpaʒm <上まぶたにできたもの> <下まぶたに できた物>
4711.41	Φoedonomé tonosamanomé	[nomé] <総称>
	[] <上睨に出たとき> [] <下睨に出たとき> (直り方が 上睨と下睨の 場合に相違があるので この様に区別して ^{ホエト} 食の メ殿様のメという由。 その <u>メ</u> が 総称となった。)	

- ▶ A・(B)・(C)ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中での情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の<>() ()は厳密にする。

質問番号 036	地図番号 112	A 普通注記 ページ
項目名 ものもらい 036		(B 除いた共通語)
		(C 除いた特殊語) (3)

地点番号	A 語形とその注記 (B・C 除いた語形とその注)	A 注のない語形 (B・C 残した語形とその注)
4730.45	mengo <上睨にまたもの>	baga <総称> <下睨にまたもの>
4736.63	riko <利口の意 …… 下のまぶたにまたもの>	baga <馬鹿の意 …… 上のまぶたにまたもの>
5471.59	マナト <大きいもの>	メマンジョ <小> <またもの 大小によってちがった 言い方をする。>
5594.37	mame	mebo 優位。
5611.81	medambe <昔 被調査者が使い、今も使う。>	その他

- ▶ A・(B)・(C)ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中での情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の<>()〔 〕は厳密にする。

質問番号	地図番号	A 普通注記	ページ
036	112	(B 除いた共通語)	
項目名		(C 除いた特殊語)	(4)
ものもらい 086			

地点番号	A 語形とその注記 (B・C 除いた語形とその注)	A 注のない語形 (B・C 残した語形とその注)
5624.85	m _u γ _u m _u γ _u <古>	mepa'tsu
5636.74	カゴメ ?	メカゴ *
5694.79	メ <新><それほど使わない>	メッコジキ
5699.42	mezirinoodeki #	monomorai *
6421.79	manato 第一に答えた。	meboeta <新>
	mehotji <多>	
6437.07	メホ <新共希><医師かいうこは>	イモウ <昔から今でも普通に使われる>
		イモリ, ホイト
6486.50	メボッコ とむい (室員)	メホ
6517.65	ウチバン !	メンホ <上>!

- ▶ A・(B)・(C)ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中での情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の<>()〔 〕は厳密にする。

質問番号 036	地図番号 112	A 普通注記 ページ
項目名 ものもらい 006		(B 除いた共通語) (5) (C 除いた特殊語)

地点番号	A 語形とその注記 (B・C 除いた語形とその注)	A 注のない語形 (B・C 残した語形とその注)
6543.05	マヌ <下>	メンボ: <上>
6547.09	metʃiriN <町中の人に多く 幾分品かい>	[metʃimbo 下]...<一般農家に多いようだ>
6583.41	metsiko <新>	imomorai <古> mebatʃiko <新>
6584.28	monokari <古> <自分は使ったことがない>	mebo:
6677.70	imbo sui <古>	meppaitʃo <新>
7239.85	オバサマ、オン ^ハ サマ <下にできたのがオバ サマで上にできたのは、 オン ^ハ サマという。>	インノツ [下] <これを使 うものはあるが自分は 使ったことはない。>

- ▶ A・(B)・(C)ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中での情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の〈〉()〔 〕は厳密にする。

質問番号	地図番号	A 普通注記	ページ
036	112	(B 除いた共通語)	
項目名		C 除いた特殊語	(6)
ものもらい 036			

地点番号	A 語形とその注記 (B・C 除いた語形とその注)	A 注のない語形 (B・C 残した語形とその注)
7258.64	メッ ^ハ チ ^ャ	メモライ
7268.45	メッ ^カ	モリヤ ^イ
7275.24	インノ ^シ ツ ^ホ	メ ^ラ ウ
7279.93	mekkan	[mesimorai]
7331.27	oemom (多)	innokuso
		otoçimesan
7344.99	mebo:gi 〈上〉	innokuso
7349.86	gibo	me:bo
7351.09	ongosan	memoro
7351.68	ongō ongosan	mémôre, oçimēsān

- ▶ A・(B)・(C)ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中での情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の<>()は厳密にする。

質問番号 036	地図番号 112	A 普通注記 ページ
項目名 ものもらい 056		(B 除いた共通語)
		(C 除いた特殊語) (7)

地点番号	A 語形とその注記 (B・C 除いた語形とその注)	A 注のない語形 (B・C 残した語形とその注)
7353.51	デキモン	オヒメサン <?>
		インノクソ
7363.85	オデケ # <希>	インノクソ !
7364.34	インノヘ	オトヒメサン <希>
7365.67	mejasibo <古>	mamoraï
7374.75	ネフト # (希)	メネヒ, インノクソ
7380.74	インノツビ	モイモライ, インノクソ
7382.58	オデケ	インノクソ <女の子供はオヒメ サンという>
7390.26	モイモ ^ハ ヤ ^ハ <希>	モ ^ハ ヤ ^ハ , センモン <希>

- ▶ A・(B)・(C)ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中での情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の<>()[]は厳密にする。

質問番号 036	地図番号 112	A 共通注記 ページ
項目名 ものもらい 033		(B 除いた共通語)
		(C 除いた特殊語) (8)

地点番号	A 語形とその注記 (B・C 除いた語形とその注)	A 注のない語形 (B・C 残した語形とその注)
7390.70	デケモン #	ゼンモン, モライソオ<希>
7391.44	メモリアクンジン	クンジン, メクンジン メネフト
7500.66	ハバチコ <新> (メホシともいう。)	チバツク
7523.05	ゴケノソキ ! <こういう人もある。>	メコジキ
8302.19	メカサ <?><目の中のできもの腫物 かも知れない>	インノクソ #
8303.13	jotenasji (少い)	innokuso (多い)<meta および その単語 meta:ppie:, meta: kuriN りんぷつてきて, たにれるもの- innokusoとは別>

